

共用品推進機構だより 2016年10月07日(27)

目次

(126) 共用品推進機構関連記事

- ▽ 『『バリアフリー』と『2センチの段差』／星川安之』
- ▽ 『障がいや年齢を問わず『みんなが使いやすい』／森川美和』
- ▽ 『『第43回国際福祉機器展 H.C.R.2016』開催／共用品推進機構』

(127) 各種催しとお知らせ

- ▽ 『『国リハコレクション 2016』開催のお知らせ』

(128) 製品関連記事

- ▽ 『ワンタッチ操作の IC レコーダー／オリンパス』

(129) その他、各種関連記事

- ▽ 『発達障害向け学童保育 ミサワホーム系 埼玉県に1号施設』

(130) 新刊紹介

- ▽ 『ルイ・ブライユ 点字を発明した19世紀のフランス人』
- ▽ 『私が今日も、泳ぐ理由 パラスイマーノ瀬メイ』
- ▽ 『これで福祉と就労支援がわかる』
- ▽ 『障害学研究 11 (2016)』
- ▽ 『福祉職・介護職のためのわかりやすい高次脳機能障害
原因・症状から生活支援まで』

(126) 共用品推進機構関連記事

- ▼ 『『バリアフリー』と『2センチの段差』／星川安之』

ふた昔前、日本の駅はエレベーター、エスカレーターがある方が珍しく、車椅子使用者が駅に着くと、駅員さんが階段の乗降、乗車への介助を行い、「バリアフリー」を成り立たせていた。それが、バリアフリー新法の制定により、車椅子を運ぶ光景は見られなくなった。

バリアフリーは、民間施設にも浸透し、段差がないのは当たり前になりつつあるが、そうとばかりは言えない場所がある。それが横断歩道と車道の境目である。

段差をなくすことが基本ではないかと思われるが、横断歩道を利用するのは車椅子使用者だけではない。

目の不自由な人が横断歩道を渡ろうとする時、段差がないと白杖で確認することができない。けれど、段差をつけすぎると、車椅子使用者がその段差を乗り越えたり降りたりすることができなくなってしまう。

お互いのニーズのみを主張し続けると、横断歩道と歩道の段差は、バラバラなままになる。それを避けるために導きだした数値が2センチである。

アクセシブルデザインは、多くの場面で議論と検証が行われ、それぞれこの「2センチ」のような合意を探す作業が行われている。

(厚生福祉 8月19日より抜粋)

▼「障がいや年齢を問わず『みんなが使いやすい』／森川美和」

共用品とは障がいの有無や年齢に関わらず、より多くの人使いやすい製品、施設、サービスのことです。

共用品の代表例は、シャンプーボトルの側面にある「きざみ」。これはリンスとの区別をつけるための配慮です。

ボディソープの容器に一直線状の触覚記号が付きましたがご存じでしたか？

これは近年増えてきたボディソープと他の容器の区別がつきにくいことから生まれた工夫です。まだ市場にはたくさん出ていませんが、これから増えてくる工夫の一つです。

そのほかにも、耳の不自由な人にも助かる文字情報やバイブレーション機能、車いすを使用している人にも助かるエレベーターやノンステップバスなど、障がいのある人達の不便さを解決したことによって、結果的により多くの人を使いやすくなった共用品は数多くあります。

(福祉用具の日しんぶん 10月1日9面より抜粋)

▼ 『第 43 回国際福祉機器展 H.C.R.2016』 開催／共用品推進機構」

「第 43 回国際福祉機器展 H.C.R.2016」が開催される。
主催者が企画展示する東 6 ホール内 特設会場 A 「マイサイズ！あなたに合わせたモノ展」では機構も協力する。

日時：2016 年 10 月 12 日（水）～14 日（金）10:00～17:00

会場：東京国際展示場「東京ビッグサイト」

〒135-0063 東京都江東区有明 3-10-1

入場料：無料・登録制（一部の講座等は有料）

<http://www.hcr.or.jp/>

(1 2 7) 各種催しとお知らせ

▼ 『国リハコレクション 2016』開催のお知らせ」

着たい服がどこでも手に入り、おしゃれができる環境がより促進されることを目指し、様々な情報発信の手段として国リハコレクションを始めました。

開催日：2016 年 10 月 22 日（土）9：30～16：00

場所：国立障害者リハビリテーションセンター 本館ロビー

埼玉県所沢市並木 4-1

参加費：無料、事前申込不要

問合せ先：国立障害者リハビリテーションセンター

TEL：04-2995-3100（代表） FAX：04-2995-3132（研究所）

E-mail：ML-fashion@rehab.go.jp

(1 2 8) 製品関連記事

▼ 「ワンタッチ操作の IC レコーダー／オリンパス」

オリンパスはワンタッチで簡単に録音や再生の操作ができる IC レコーダーを 14 日に発売する。前面にあるスイッチをスライドさせるだけで簡単に録音を開始。メモ代わりの録音や会議の記録、音楽、長時間録音の 4 つのシーンから 1 つをボタンを押すだけで選択でき、選んだシーンに合わせて最適な録音設定ができる。

音以外の雑音を抑えるノイズキャンセル機能も搭載。空調などの雑音を抑えた聞き取りやすい音声で再生できる。

(日経産業新聞 10 月 4 日 14 面より抜粋)

(129) その他、各種関連記事

▼「発達障害向け学童保育 ミサワホーム系 埼玉県に 1 号施設」

ミサワホーム子会社の人材派遣会社セントスタッフは、発達障害児向けの学童保育に参入した。子どもの発達支援を手がける NPO 法人 ADDS と組み、埼玉県戸田市に 1 号施設を開いた。

開設した「放課後等デイサービスミライエ戸田」は自閉症やアスペルガー症候群といった発達障害のある小学 1 年生から高校 3 年生までの就学者を対象に、1 日 10 人まで受け入れる。授業終了後や長期休暇中に集団生活の機会と居場所を提供する。

ADDS の発達障害の研究者らとも連携して効果的な療育プログラムを提供する。具体的には積み木やパズル、カードゲームなど 1 人ひとりに適した遊びなどを組み込むという。さらに児童・生徒の就労支援や企業向けに採用に関する助言も手がけていく方針だ。

(日経産業新聞 10 月 3 日 9 面より抜粋)

(130) 新刊紹介

▼『ルイ・ブライユ 点字を発明した 19 世紀のフランス人』

幼くして盲目になったルイ・ブライユは、パリの盲学校で、「点字」を発明した。目が見えなくても読み書きができる文字の開発に一生をささげた彼の

人生をまんがでたどる。見返しにマップあり。

まんが：新井隆広（あらい・たかひろ）

ストーリー協力：広瀬浩二郎（ひろせ・こうじろう）

発行：小学館

本体価格：950 円（税別）

ISBN：978-4-09-270030-7

▼『私が今日も、泳ぐ理由 パラスイマー一ノ瀬メイ』

泳ぎで未来を変える！それが、今の私にできること。生まれつき右ひじから先がないパラスイマー、一ノ瀬メイ選手の半生と、大きく深い思いをつづった物語。

文：金治直美（かなじ・なおみ）

発行：学研プラス

本体価格：1350 円（税別）

ISBN：978-4-05-204461-8

▼『これで福祉と就労支援がわかる』

福祉と雇用は車の両輪。福祉サービスの基本となる生活保護制度や障害者福祉制度について触れながら、併せて雇用問題についても目を配り、福祉と雇用の関連性に主眼をおいて解説する。

著：結城康博（ゆうき・やすひろ） 嘉山隆司（かやま・たかし）

発行：書籍工房早山

本体価格：2000 円（税別）

ISBN：978-4-904701-47-8

▼『障害学研究 11（2016）』

障害を社会・文化の視点から研究する障害学の発展・普及をはかる障害学会の学会誌。インクルーシブ社会をテーマとした障害学会第 11 回大会のシンポジウムを特集するほか、論文やエッセイ、書評などを収録。

編集：障害学研究編集委員会

発行：障害学会

本体価格：3000 円（税別）

ISBN：978-4-7503-4397-6

▼ 『福祉職・介護職のためのわかりやすい高次脳機能障害
原因・症状から生活支援まで』

小児期以降に病気やケガで高次脳機能障害を残し、病院で一定期間認知リハビリテーションを受けた後に障害者手帳を交付された、一般社会や福祉施設で過ごす人たちがもつ代表的な症状について、イラストや写真を用いて解説する。

著：中島八十一（なかじま・やそいち）今橋久美子（いまはし・くみこ）

発行：中央法規出版

本体価格：2700 円（税別）

ISBN：978-4-8058-5406-8

（編集後記）

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック（以下「オリ・パラ」）も終わり、東京での開催を心待ちにしている人も多いと思います。

そんな中、4年後に向けて、選手はすでに調整を始めています。

メダル獲得の夢に向かって進む多くの選手の姿は、国内のスポーツ大会でも見ることができます。

機会を見つけて応援にかけつけてみてください。（森川美和）

障がい者スポーツの情報は公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の大会情報（大会カレンダー）から知ることができます。<http://www.jsad.or.jp/>

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>